



「素晴らしい島」「西ノ島が一番」

たくさんの嬉しいお言葉いただいています！

海外からの旅行客受け入れ再開はまだ先のことですが、日本在住の外国籍の観光客がこの夏、人数は少ないものの西ノ島にお越しになりました。

「カヤックを持っていないだっ？ こんな素晴らしい島に住んでいてマリンスポーツを楽しまないなんて、人生を損しているよ」と豪快に笑ったオーストラリア人男性。「今まで私の中で日本の観光地ナンバーワンは岐阜県の白川郷でした。でも摩天崖を見て、今は西ノ島が1番です」と名残惜しそうにフェリーに乗り込んだフラン



▲「今は西ノ島が1番です」とフランス人に言わしめた摩天崖でのんびり草を食む牛と馬

ス人女性。今でも仕事中にふと、元気にしているかなあ、また西ノ島に来てほしいなと思い出します。

ある日、自転車貸し出し手続きをした時に、名前を記入していただいて初めて中国人だとわかるほど日本語ペラペラなカップルがいらっしゃいました。質問をされた時、私が知っている数少ない中国語で「没关系（大丈夫）」ととっさに答えると破顔一笑、一気に緊張が解けて話が弾みました。

外国語が話せなくても、知っている片言の単語で海外からのお客様と心を通じ合わせることは可能です。そこで近いうちに英会話講座を開講したいと思いますので、後続のお知らせをお待ちください。



利用期限
令和3年
12月31日

わがところ応援
食事券・商品券をご利用ください

5月に「わがところ応援食事券」「わがところ応援商品券」の2種類を発行しています。券には利用期限があります。期限を過ぎた券はご利用できませんので、期限内のご利用をお願いいたします。

お問い合わせ先：
西ノ島町役場 観光定住課（電話：08514 - 6 - 1257）



こちらの登録証があるお店で
ご利用できます。



西ノ島町コミュニティ図書館

いかあ屋通信 vol.42



秋の読書週間 10月27日～11月9日

2021・第75回読書週間 標語「最後の頁を閉じた 違う私があった」

いかあ屋では、みなさんから紹介していただいたおすすめの本を展示しています。「賞」やコメントもついていますので、本を選ぶ参考にしてみてください。

日の入りも早くなりました。夜のひとときに本を開いてみませんか。

終戦まもない1947年（昭和22年）、まだ戦火の傷痕が至るところに残っているなかで「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意のもと、出版社・取次会社・書店と公共図書館、そして新聞・放送のマスコミ機関も加わって、11月17日から、第1回『読書週間』が開催されました。そのときの反響はすばらしく、翌年の第2回からは期間も10月27日～11月9日（文化の日を中心にした2週間）と定められ、この運動は全国に広がっていきました。そして『読書週間』は、日本の国民的行事として定着し、日本は世界有数の「本を読む国民の国」になりました。

いま、電子メディアの発達によって、世界の情報伝達の流れは、大きく変容しようとしています。しかし、その使い手が人間であるかぎり、その本体の人間性を育て、かたちづくるのに、「本」が重要な役割を果たすことは変わりありません。

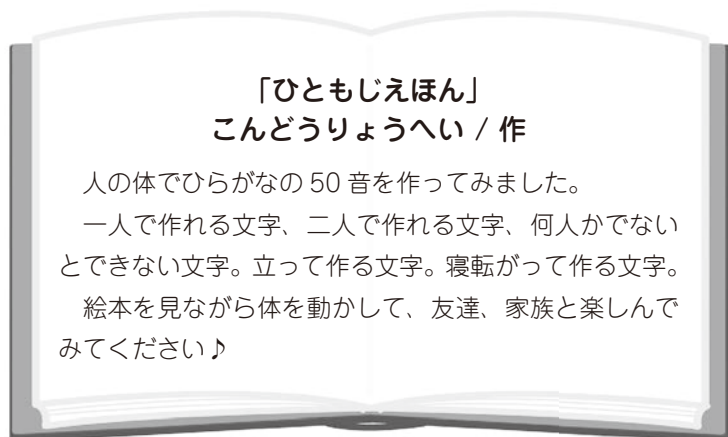
暮らしのスタイルに、人生設計のなかに、新しい感覚での「本とのつきあい方」をとりいれていきませんか。

～公益社団法人 読書推進運動協議会 HP より～



『読書週間』が始まる10月27日が、「文字・活字文化の日」に制定されました。

☆ いかあ屋からおすすめの本 ☆



「ひともじえほん」 こんどうりょうへい / 作

人の体でひらがなの50音を作ってみました。

一人で作れる文字、二人で作れる文字、何人かでないとできない文字。立って作る文字。寝転がって作る文字。

絵本を見ながら体を動かして、友達、家族と楽しんでみてください♪



書名：ひともじえほん
作：こんどうりょうへい
写真：やまもとなおあき
出版社：福音館書店

【お問い合わせ先】

西ノ島町コミュニティ図書館 〒684-0211 島根県隠岐郡西ノ島町浦郷67-8
TEL：08514-2-2422 FAX：08514-2-2423 MAIL：ikaya@nishinoshimalib.jp